（別紙２の２）

自己評価及び外部評価結果

１．事業所概要

事業所番号	1493400103	実施年度	R7 年度	
法人名	株式会社アイシマ			
事業所名	グループホーム　きずな			
所在地	（ 246 － 0011 ） 神奈川県横浜市瀬谷区			
サービス種別	■認知症対応型共同生活介護 □介護予防認知症対応型共同生活介護		定員	計　　１８名
			ユニット数	２ユニット
自己評価作成日	令和８年１月 31 日	評 価 結 果 市町村受理日		

２．運営推進会議開催日時・場所

日　時	R8 年　２月　１１日　　１０時 ３０分～１１時３０分	場　所	きずな　会議室

３．運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人　　数
委員	利用者又は利用者の家族	１人
	地域住民の代表者	１人
	当該サービスに知見を有する者	人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	１人
事務局	管理者	１人
	計画作成担当者	１人
	介護従業者	人

４．事業所の特徴

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝職員と利用者様共に理念を唱和し、理念を意識し利用者様に寄り添い、統一した業務が出来るようにしています。日々の関りの全体を通して職員の意見をひとり一人聞き、職員全体で理念に沿ったサービス提供が努めています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会の防災訓練やレクリエーション大会に参加や、近隣の幼稚園との交流、運動会への参加、交流のある高校生とのボランティア受け入れしています。	見学会の実施などで GH が実際にどのような場所か知る機会があることが良いと思います。活動報告書などを通し地域行事への参加よく出来ているといます。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度の運営推進会議では、地域の情報を聞かせて頂いたり、介護状況の報告を行っています。また、地域の高齢化の現状や高齢者をどう支えていくべきかの話合いも行っています。高齢者を抱えた地域住民の相談も積極的にさせて頂いています	運営推進会議にて報告があり、地域内の情報共有や報告がされており、地域の相談事などにも積極的に対応している様子がうかがえます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	旭・瀬谷グループホーム連絡会の会議や研修に積極的に参加しています。瀬谷区の地域密着サービス連絡会も毎回参加しています。	人員不足で参加が難しいなか、地域の連絡会などに参加出来る体制が整えられていますね。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の研修や勉強会の参加、法人内の身体拘束適正化委員会、ホーム内でも身体拘束委員会を３ヵ月ごとに行い、年に２回はアンケートシートなどを用いて話し合い、おかしいと感じたらあやふやにせずにすぐカンファレンスを開催し否定や強制ではなく		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での活動報告を通し、身体拘束に対する研修等で適時職員のスキルの向上が図られている。アンケートや協議の場を持つことで一人の判断で動くことがないような工夫がされている。

				ひとり一人の意見を聞き、寄り添いのあるケアに努めています。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から虐待についての研修、勉強会への職員の積極的な参加、また虐待防止に向けた委員会を４か月ごとに行い、共におかしいと感じた事はそのままにせずその場で指摘し、管理者との面談を行い、発生防止に努めています。内部だけでなく外部の研修などにも参加しきちんとした知識、意識付けを行っています		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者との面談や法人内の勉強会、研修及び外部の知識、技術を取り入れ。職員が共通理解を図りながらケアの実施、虐待防止への意識を高く出来ていると思う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護、成年後見制度の講習や勉強会に参加させて頂いています。ご家族より説明等の依頼がありましたら、個別にご説明させて頂いています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には、管理者が時間をかけて十分に説明を行っています。医療連携体制や重度化した場合、看取りについての対応等詳しく説明させて頂き、同意を得るようにしています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会や、運営推進会議への出席のお願いを行い、そこで聞き取った要望をカンファレンスにて取り上げ、反映させていただいています。又苦情・相談窓口もホーム内に設置していることの周知を日々行っています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の一員としてご家族が参加され、家族と意見交換し管理者からの活動報告書を通して要望を聞き入れる体制が出来ており。要望に応えながら運営出来ている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1度のカンファレンスや職員連絡ノートやご利用者様の個人連絡ノートを活用して意見交換の場にしています。またカンファレンスは緊急性などがある場合は都度開催しまた必要に応じて管理者との個人面談を行っています。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢スタッフや外国人スタッフなどがいる中で個々の特徴や悩みなどを本人と話し合いながら得意なこと、苦手なこと、体力面を考慮し担当業務を行っています。業務負担が偏らないよう定期的に職員の希望聞き、無理のないシフト作りを心がけています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動状況報告書の中に必ず研修等に説明があり、法人の指導のもと研修の機会が多くあると感じている。外国人スタッフが増えてきている中で問題のないように調節し研修については管理者等のリーダーを通して、指導が行き届いていると感じたことがある。職員の意向を聞き取る体制は良く出来ていると思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会や講習会など ZOOM を用いて全員参加し、報告書の提出をして頂いてもらっています。報告書も全て目を通し疑問点の早急な解決、また限られた人数の研修及び講習会に関しては報告書の提出、カンファレンスにて伝達講習を行っています。 法人内の 1 年に一回の開催の事例発表に事業所総数から 2 年に 1 度ですがそこでホーム内の事例を発表しています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の機会が多くあり、研修内容や研修方法にも工夫がされており、安心して家族と預けられる態勢が出来ている。勉強会は進んでいますが、実際の活動となると難しい場面もありやらせて育てるのも今後必要であると思う
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の他ホームとの交換研修を行い、業務に対しての意見交換や改善点の話し合いを行っています。管理者主任は旭瀬谷グループホーム連絡会や地域密着サービス連絡会に参加する事で交流を図っています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の希望があった時点で生活歴やご本人との面談でニーズを伺いスムーズにホームでの生活に入れるようにしています。また入居後すぐにご本人とのコミュニケーションを密に取り本人が望むこと、必要ななケアを提供していけるよう努めています。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人とのコミュニケーションの中で馴染みの関係性を把握し、普段の関りの中で共にお話したりまた、面会を中心に会う機会を設けており、面会になかなか来れないご友人やご家族との電話でのやりとりや、手紙でのやりとり等が継続できる支援をさせて頂いております。	電話の使用も自由に出来るようにしてあり、いつで面会に来れる体制が整えられており、入所してもご家族など外部との関りがとれるようになっていますね。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の要望や希望に添えるよう都度お話を聞きケアプランに取り入れています。意思疎通が困難な方には入所当時からの関わりを元にケアカンファで話し合ったり、ご家族に聞いて GH ならではの個別の対応を心掛けています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスでご本人の課題や家族の要望や医療との連携ノートを活用し意見交換やモニタリングをしており、現状のニーズや心身の状態にあったケアプランを作成しています。	ケアプラン作成前にご家族に要望の書類を送っている書類や、記入に関する様子にてご家族の要望を取り入れていることがうかがえる。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との意見や医療との連携ノートなどのツールを活用し、広い視点でプラン作成が出来ていると思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットによる個々の生活記録、業務日誌、連絡事項、個人ノートをツールとして運用し、いつでも全ての職員が確認・共有出来るようにしています。業務開始時に職員が確認、その後に申し送りをして周知することを義務付けています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々なツールの活用で、職員間の情報共有がなされていると思う。日々の業務なので、業務負担を軽減しながら無理なく記録、共有出来る事が大切だと思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急な体調の変化があれば連携している訪問看護や主治医の往診や必要な時に、ご本人やご家族の状況に応じて、通院や送迎等を行わせて頂いております。 コロナは緩和してきていますが人の多い場への外出が難しく、レク	外出支援の写真や、行事の写真見て頂き、ご利用者が楽しんでいる様子がうかがえますね。		

				リエーションや行事企画など希望に沿えるよう対応しています。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会主催のレクレーション大会や防災訓練に参加したり、以前より交流のある福祉委員会の高校生が行事のお手伝いをしにきて頂いています。	幼稚園との交流会やレクリエーション大会への参加、高校生などの交流が写真をみて良くなされていると思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	精神科または内科の医師をご本人やご家族の希望に沿って往診して頂きます。又、眼科や皮膚科など必要に応じて往診を受けられるサービスとなっています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際は、ご本人やご家族の意向を第一に考え、病棟看護師や医師と話す機会を設けており、早期退院に向けて働きかけています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動報告書の中で必ず入退院の報告があり、入院の理由や入院に至る状況などが詳しく報告されご家族やホームの医師、病院の医師との連携が図れていると思う。視点の違いや時間の流れが違うこともあり、難しい場面があるが、日頃から話す機会を多く設けて普段から意思疎通についても図れていると思う
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ターミナルケアについての対応を定めており、ご本人、ご家族の意向を確認の上、医師、看護師、職員と方針を共有しています。ご家族の方には看取りに関しての説明や緊急時に対する同意書にサインを頂きます。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ターミナルケアに至る状況やその対応など詳しく報告され、家族や病院との連携が図られていることが分かる。医師、看護師、職員の間で方針を共有し、適切に対応できている。ACP（人生会議）に着目している点がとても良いと思う。ACP について地域をあげて理解を拡げていけると良いと思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会やカンファレンス時に職員と緊急時の確認や消防署主催のAED 講習を受けています。緊急マニュアルがあり、場面に合わせたフロチャートを事務所内の壁に提示してあるので、どこへ連絡するべきかは、全ての職員が周知しています。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・地震発生時の対応、火災発生時手順、緊急時の避難訓練などをマニュアル化しており、毎月一度、施設内で想定を変えて避難訓練を実施しています。地域の災害訓練や消防署主催の研修にも積極的に参加しています。	毎月の避難訓練の実施や地域の防災訓練にも参加し災害時の対策が成されている。災害時の相談もして下さっています。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月避難訓練の実施報告があり。きちんと取り組んでいる様子は素晴らしいと思う。地域との連携を図り、災害時の対応を進めており、災害対策の共通基準となる BCP についても事業所で協議されていると良いと思う。 上楽老峰自治会の防災訓練や 4 月当初の役員打ち合わせにも参加して頂き、地域との連携が出来ている。 災害時には地域に対しても協力を惜しまない意向をいただいている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	接遇、個人情報の取り扱いについては入職時のオリエンテーションを行っております。またご利用者様一人一人に対して尊厳を持ち言葉遣いや態度等に気を付けるよう日々スタッフ同士やカンファレンスでチェックリストを用いながら注意を呼び掛けています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接する幼稚園の運動会や施設の周りを笑顔で散歩するスタッフさんと入居者さんの良好な関係が見受けられます。家族の意見もプライバシーの確保がなされ、良い関係が構築されていると思う。長期勤務スタッフが多く家族のような対応が出来ていると思う。今後も高い意識で取り組んでいって欲しい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の体操時に朝礼として一日のスケジュールの確認やご利用者様のやりたいこと、食べたい物等を伺うようにしています。職員側の業務や時間を優先せず、日課や家事等はご利用者様の積極性を生かしご本人様のタイミングで提供できるようにしています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様との会話の中で食べたい物を伺い食事やおやつのメニューを決定しています。庭の畑で採れた野菜を使ったり、盛り付けや食器洗い食器拭き等を行うことで食事に関わる意識を持ってもらうことに努めています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの食事の好みを聞き、こまかな対応が出来ていると思う。イベントを通した楽しい食事の様子など、写真を通して説明を受ける事がある。一つ一つの食事に関しても利用者に合わせて工夫していることが伝わってくる。一緒に取り組めることが多いと、職員の視点も増え、とても良いと思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士からの助言をもとに栄養に対する意識の向上をはかり、食形態はご利用者様一人一人の状態に合わせて提供しています。嚥下状態が低下してきたら訪問			

				歯科により嚥下検査を行い食形態の見直しをします。食事や水分量を全て表に記入しタブレットに打ち込み摂取量が把握できるようにしています。食事量の減少による栄養の低下がみられるご利用者様には看護師や主治医と相談しながら食事内容の変更を行っています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の歯科医からの口腔助言書をもとに毎食後一人一人に声を掛けて自立の方には見守り確認、それ以外の方は介助を行っています。口腔内のトラブルがあれば週に一度の訪問歯科へ相談、処置をして頂いています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔指導についての報告がされ、一人一人の利用者に合わせた丁寧な対応をしている様子がうかがえる。今回セレクト20に選ばれた要因の一つだとも聞き、舌磨きなど細部まで配慮されている点がとても良いと思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	失禁がちな方にも居室でのオムツ交換ではなく極力便座に座って頂き出来るだけ排泄を促すようにしています。その方の残存機能を活かせるよう排泄チェック表に記録を取り、その方の周期やパターンを把握して誘導や声掛けを行っています。夜間トイレ頻回で失禁が多くなってしまう方にはＰトイレを使用もしています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の自立支援に関しても、口腔指導と合わせて活動報告書などで具体的な報告がある。 一人一人の自立支援が適切におこなわれている様子がうかがえる。 丁寧に行うことは、ご利用者の尊厳に関わる大切な視点だと思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	清潔保持の為に週に入浴と足浴をそれぞれ 2 回以上行い、職員と昔話や色々なお話をすることで入浴に楽しみを感じて頂けるようにしています。またご本人の精神面や体調面を考慮してその方に適した入浴時間や入浴日に融通が利くように努めています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様個々のリズムに合わせて毎日の就寝時間を基本的にはご本人に決めて頂いています。その方に合わせて午後の短時間の臥床や休息時間を設け、			

				また昼夜逆転にならめようしっかり日光浴を浴びる為の外気浴や日中のレクリエーションや家事など活動量に注意しながら安心した睡眠に繋がるようにしています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師から薬の効果や副作用を連携ノートを活用して周知しています。処方内容の変更があった場合は理由を申し送りの他、医療連携ノートや記録に記載し個人ファイルでも確認できるよう周知をしています。また処方内容が分かるリストをケースファイルに入れて、保存方法や効能、副作用等をすぐに確認出来るようにしています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬支援に関して、利用者自身が間違いがある状況の中で職員がチームとして連携しながら、細心の注意をはらい間違いのない服薬支援ができるよう努力する姿勢がうかがえる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援を中心に考えその方の残存機能を活かせるよう出来る事はご自身で行って頂けるよう声かけに気を配りながら日課やレク、家事などの支援を行っています。 またご利用者様の趣味や好きな事から気分転換出来ること等をカンファレンスなどで都度話し合い内容も片寄りの無いようメリハリのある生活を提供できるよう支援しています	ご利用者の要望を取り入れながら、動作一つでも行えることはないか、報告を通し料理など本人が出来ることを継続できるような支援が成されています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や日光浴はご利用者の希望に沿って悪天候でなければ基本毎日行っております。ご利用者様やご家族の希望をお聞きし、感染状況などに留意しながら可能な範囲で外出の支援を行っています。	毎日の外気浴はきずなの売りであり、施設付近でスタッフとご利用者が歩いているのをお見掛けするこことがあり、移動販売など活用し外出支援が出来ています。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望をするご利用者に合わせ、買い物ケア等の支援を行っています。またご利用者様からご希望			

				があれば通帳残高の開示などを行っています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便箋やハガキはいつでも使えるよう常備しており自由に出せるよう支援しています。電話を希望のご利用者に9時半～19時の間ならば、職員見守りの元、いつでも自由に連絡を取って頂いています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレ内に貼り紙などで使い方がわからないご利用者様にもわかって頂けるように配慮しています。また、全面バリアフリーになっており、廊下には手すりを設置し、お風呂やトイレには分かりやすいように目印を書いています。共有スペースの生活動線は物を少なくして広く使う、季節感のある絵をカレンダーとして壁に飾る、季節の草花を飾る等を取り入れ今の季節を感じやすいようにしています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加するために施設の中に入るが、色々なところに張り紙などの工夫が成されており、環境への配慮は十分になされていると思う。個室には小さな窓があるが。普段は覗けないように隠されている点が良いと思った。利用者の状況に応じて環境を変化させ、季節を感じる絵や花が飾られているのもご利用者に嬉しいポイントだと思う。
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何事も基本的には必ずご利用者様に一度お話をしたうえで意思決定を促すようにしています。意思疎通困難な方へも声掛けをし表情を観察し確認を行っています。その際思い込みがないよう職員同士でも確認や異変があれば再確認行い、また、情報共有しより良い支援ができるよう職員に意識付けをしています。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との面会や遠方のご家族には電話、手紙などで関係を維持できています。コロナはおさまってきていますが感染状況から外出などが難しい状況です。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝のバイタル測定、月に2回の主治医往診、週に1回の訪問看護、歯科の往診にて体調報告を行っています。定期往診以外でも訪問看護と24時間相談できる体制を整えています。また本人の体調、状態に合わせて食事内容や提供場所を変更する等支援を行っています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動状況報告書及び具体的な説明の項目の中で日々の取り組みや状況の報告がされている。主治医、訪問看護。歯科の往診で健康に過ごせるよう管理が成されている。 本人の体調、状況に合わせて食事内容や提供場所を変更する等支援を行っている様子がうかがえる。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に生活歴の確認、本人やご家族からお話をお聞きし出来るだけ馴染みのある暮らしを継続していけるようにしています。またご本人との日々の会話の中でどのように生活してきたのか、これからはどのようにしていきたいのかをしっかりと伺い望む生活が出来るよう努めています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活同線に気を付け、家からの馴染みのある持ち込み物やご家族やお知り合いからの贈り物、希望されるものをご本人と相談して居室へ飾っています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年齢による忘れもあるなか、ご利用者の要望を聞き、その人が大切にしているものが分かり、素晴らしいと思う。 管理者やスタッフの様子から実現出来ているのではないかと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム付近の散歩などは希望をとりながらおこなっていますがコロナの感染状況もあり外出はほとんどできていません。	感染症の状況をみながら地域への行事への参加されている。外食やドライブなどの支援も行えています。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や日々のコミュニケーションの中からそれぞれ好きな事や得意なことを把握しそれに取りくめるよう環境づくりをしています。難しいことでも職員のみで判断せず本人に希望をお聞きし出来ないことがあっても本人の望むこと			

				が出来るよう支援に努めています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室以外に共有スペースにソファーの設置や余暇時間には好きな場所にて過ごせるようにしています。おやつ時などは職員も共に座り会話の時間を設けています。洗濯ものたたみや食器拭き、食事作りなど本人の希望や状態に合わせて役割を持っていただけるよう努めています。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加するため施設に入るが、その時に利用者さんの様子を垣間見ることが出きる。過ごしやすい環境づくりがされおり、それぞれの利用者さんが、いきいきと過ごしている様子や会話のひとときを見ることができ、日々の暮らしを楽しんでいるのではないかと思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ等感染状況を見ながら、徐々に地域の行事へ参加しています。本人の希望を取りながら、幼稚園の運動会や自治会のレクリエーション大会などに参加しています。	幼稚園の運動会の参加や交流会を通して楽しんでいる様子がうかがえる。 写真と報告書にて交流会では子供たちと積極的に関わる様子があった。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションや関りを通して本人が望む安心した生活が出来るよう環境づくりを行い、状態の変化に合わせてケアカンファレンス等で話し合い適切な対応が出来るよう努めています。	行事など報告書をみても皆様笑顔が多いですね。 ひとりひとりの自立支援もなされており、安心して過ごせる環境がつくられていると思います。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接する、幼稚園の運動会に参加したり、地域のレクリエーション大会に参加したりするなど。ご利用者に合わせながら、地域行事を意識して一人ひとりが安心して自分らしく過ごせる生活を創造している様子がうかがえる。

（別紙２の２）

自己評価及び外部評価結果

１．事業所概要

事業所番号	1493400103	実施年度	令和７年度	
法人名	株式会社　アイシマ			
事業所名	グループホームきずな			
所在地	（246 -0013 ） 横浜市瀬谷区東野台 40			
サービス種別	■認知症対応型共同生活介護 □介護予防認知症対応型共同生活介護		定員	計　　18名
			ユニット数	２ユニット
自己評価作成日	令和８年　２月 11 日	評 価 結 果 市町村受理日		

２．運営推進会議開催日時・場所

日　時	R８年２月 11 日 10 時 30　～11 時 30	場　所	２階　会議室

３．運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人　　数
委員	利用者又は利用者の家族	１人
	地域住民の代表者	１人
	当該サービスに知見を有する者	人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	１人
事務局	管理者	１人
	計画作成担当者	１人
	介護従業者	１人

４．事業所の特徴

ご利用者様・ご家族・スタッフ共が一緒に「きずな」という大きな家を造り、社会と繋がりを持ちながら支え合い生活しています。利用者様と職員が毎日笑顔多く過ごせるようコミュニケーションやレクリエーションの充実を心掛けています。そして認知症になっても役割を持ち、必要とされている意識を持っていただけるよう日々関わらせていただいています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝職員と利用者様共に理念を唱和、理念を意識し利用者様に寄り添い、統一した業務が出来るようにしています。日々の関りの全体を通して職員の意見をひとり一人聞き、職員全体で理念に沿ったサービス提供が努めています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着の一環として、地域ケアプラザと連携してホームの見学会を行い普段のグループホームでの生活を見て頂き認知症への理解を深めて頂いています。	多くの方が見学に来られグループホームがどんな所かを理解できるのは良い。直接認知症のご利用者と話ができいい経験になったの思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度の運営推進会議では、地域の情報を聞かせて頂いたり、介護状況の報告を行っています。また、地域の高齢化の現状や高齢者をどう支えていくべきかの話合いも行っています。高齢者を抱えた地域住民の相談も積極的にさせて頂いています	きずなは色々な行事やケガの報告もありよくわかる。会議メンバーのご家族からも話しを聞き本当に良いホームだとわかる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	旭・瀬谷グループホーム連絡会の会議や研修に積極的に参加しています。瀬谷区の地域密着サービス連絡会も毎回参加しています。	瀬谷区の連絡会では連絡調整係をやっていたり、旭瀬谷 GH 連絡会はほぼ毎回会議に参加し情報交換を行っているのは忙しい中大変だと思うが施設で出られる体制ができていますね、		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の研修や勉強会の参加、法人内の身体拘束適正化委員会、ホーム内でも身体拘束委員会を 3 ヵ月ごとに行い、年に 2 回はアンケートシートなどを用いて話し合い、おかしいと感じたらあやふやにせずにすぐカンファレンスを開催し否定や強制ではなく		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の活動報告書及び説明を通して身体拘束の取り組みについての説明があった。事業所内の研修や勉強会が整っており、職員の介護技術や接遇スキルの向上が図られていると感じる。

				ひとり一人の意見を聞き、寄り添いのあるケアに努めています。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から虐待についての研修、勉強会への職員の積極的な参加、また虐待防止に向けた委員会を４か月ごとに行い、共におかしいと感じた事はそのままにせずその場で指摘し、管理者との面談を行い、発生防止に努めています。内部だけでなく外部の研修などにも参加しきちんとした知識、意識付けを行っています		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の活動報告書及び説明を通して虐待の取り組みについての説明があった。管理者との面談や外部の知識・技術を取り入れ虐待防止への意識を高く維持できている。家族からの苦情もなく笑顔で対応している。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護、成年後見制度の講習や勉強会に参加させて頂いています。ご家族より説明等の依頼がありましたら、個別にご説明させて頂いています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には、管理者が時間をかけて十分に説明を行っています。医療連携体制や重度化した場合、看取りについての対応等詳しく説明させて頂き、同意を得るようにしています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身で言える方の意見も可能な限り取り入れるように出た意見はカンファレンスで話し合い実行しています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の一員として必ず家族代表が参加し活動報告や説明を通して家族の意見が反映されている。家族からも「安心している」「感謝している」との言葉がある。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1度のカンファレンスや職員連絡ノート、ご利用者様の個人連絡ノートを活用して意見交換の場にしています。またカンファレンスは緊急性などがある場合は都度開催しまた必要に応じて管理者との個人面談を行っています。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢スタッフや外国人スタッフなどがいる中で個々の特徴や悩みなどを本人と話し合いながら得意なこと、苦手なこと、体力面を考慮し担当業務を行っています。業務負担が偏らないよう定期的に職員の希望聞き、無理のないシフト作りを心がけています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の意向を聞き取る体制ができている。職員との関係や連携ができている。外国人職員の指導も行き届いている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会や講習会など ZOOM を用いて全員参加し、報告書の提出をして頂いてもらっています。報告書も全て目を通し疑問点の早急な解決、また限られた人数の研修及び講習会に関しては報告書の提出、カンファレンスにて伝達講習を行っています。 法人内の 1 年に一回の開催の事例発表に事業所総数から 2 年に 1 度ですがそこでホーム内の事例を発表しています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の活動状況報告書の中で研修の説明がある。多くの研修を受けレベルを上げている。主任を職員育成の主軸に置き中型層の育成にも目を向けておりすばらしい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の他ホームとの交換研修を行い、業務に対しての意見交換や改善点の話し合いを行っています。管理者主任は旭瀬谷グループホーム連絡会や地域密着サービス連絡会に参加する事で交流を図っています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の希望があった時点で生活歴やご本人との面談でニーズを伺いスムーズにホームでの生活に入れるようにしています。また入居後すぐにご本人とのコミュニケーションを密に取り本人が望むこと、必要なケアを提供していけるよう努めています。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人とのコミュニケーションの中で馴染みの関係性を把握し、普段の関りの中で共にお話したりまた、面会を中心に会う機会を設けており、面会になかなか来れないご友人やご家族との電話でのやりとりや、手紙でのやりとり等が継続できる支援をさせて頂いております。	ご利用者がご家族様や知人を忘れない為にも写真を居室へ飾ったり職員がご家族様の名前を出して話したりと配慮が凄いですね。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の要望や希望に添えるよう都度お話を聞きケアプランに取り入れています。意思疎通が困難な方には入所当時からの関わりを元にケアカンファで話し合ったり、ご家族に聞いて GH ならではの個別の対応を心掛けています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスでご本人の課題や家族の要望や医療との連携ノートを活用し意見交換やモニタリングをしており、現状のニーズや心身の状態にあったケアプランを作成しています。	事前にご家族の声を聴くために書類を送っているのは素晴らしい。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の意見や医療との連携ノート等のツールを活用し広い視点でプラン作成ができている。1 人 1 人のニーズに合った計画プランを実施している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットによる個々の生活記録、業務日誌、連絡事項、個人ノートをツールとして運用し、いつでも全ての職員が確認・共有出来るようにしています。業務開始時に職員が確認、その後に申し送りをして周知することを義務付けています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間の情報共有がなされている。業務負担を軽減しながら無理なく記録、共有ができている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急な体調の変化があれば連携している訪問看護や主治医の往診や必要な時に、ご本人やご家族の状況に応じて、通院や送迎等を行わせて頂いております。	毎回の運営推進会議での報告の写真を見て状況はよくわかる。ご家族以上に一人ひとりを大切にされているの思う。		

				コロナは緩和してきていますが人の多い場への外出が難しく、レクリエーションや行事企画など希望に沿えるよう対応しています。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染状況を確認、対策を行いながら高校生ボランティアとの交流や外出、ホーム外への散歩などを実施しています。	移動販売にも参加していてありがたい。高校生との写真も嬉しそう。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	精神科または内科の医師をご本人やご家族の希望に沿って往診して頂きます。又、眼科や皮膚科など必要に応じて往診を受けられるサービスとなっています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際は、ご本人やご家族の意向を第一に考え、病棟看護師や医師と話す機会を設けており、早期退院に向けて働きかけています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の活動状況報告書の説明の中で入退院の報告がある。入院理由や、入院に至る状況が詳しく報告され、家族や医師・看護士等の連携が図られている。入退院の対応は本人との状況を見守り家族や病院の連携が実施出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ターミナルケアについての対応を定めており、ご本人、ご家族の意向を確認の上、医師、看護師、職員と方針を共有しています。ご家族の方には看取りに関しての説明や緊急時に対する同意書にサインを頂きます。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期の対応は家族以上の心遣いで対応している。ACP（人生会議）に着目しておりとても良いと思う。ターミナルに至る状況やその対応等詳しく報告がある。家族や病院との連携が出来ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会やカンファレンス時に職員と緊急時の確認や消防署主催のAED 講習を受けています。緊急マニュアルがあり、場面に合わせたフロチャートを事務所内の壁に提示してあるので、どこへ連絡するべきかは、全ての職員が周知しています。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・地震発生時の対応、火災発生時手順、緊急時の避難訓練などをマニュアル化しており、毎月一度、施設内で想定を変えて避難訓練を実施しています。地域の災害訓練や消防署主催の研修にも積極的に参加しています。	施設で毎月行うのは凄いですね。備える事は大事。地域の訓練にも毎回参加しありがたい。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月出来ており素晴らしいと思う。自治会の防災訓練や役員顔合わせも参加しており地域との連携が取れている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	接遇、個人情報の取り扱いについては入職時のオリエンテーションを行っております。またご利用者様一人一人に対して尊厳を持ち言葉遣いや態度等に気を付けるよう日々スタッフ同士やカンファレンスでチェックリストを用いながら注意を呼び掛けています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者が気持ちよく生活できるように意識し取り組んでいる。運営推進会議の中で家族代表の意見をプライバシーの確保がされている。1 人 1 人の対応でその人にあった言葉使いで対応している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の体操時に朝礼として一日のスケジュールの確認やご利用者様のやりたいこと、食べたい物等を伺うようにしています。職員側の業務や時間を優先せず、日課や家事等はご利用者様の積極性を生かしご本人様のタイミングで提供できるようにしています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一度の行事に彩りの良い特別な食事を提供しています。食べたい物をお聞きしたり季節に合わせみんなでメニューを考え提供しています。また汁物や炒め物が出来る方、食器洗いや拭きなど皆様で出来ることを分配しています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好みを聞きながらメニューを考えている。笑顔で美味しそうに食べている。イベントを通し楽しい食事の様子など写真を通して説明がある。ご利用者に合わせた工夫がされている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療との連携により個々の病気に合わせ塩分や水分のトータル量などの指示も受け実施しています。また体重の増減も考慮して提供しています。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況に合わせ舌ブラシやマウスウォッシュ、スポンジブラシを使用しています。自分で立てる方は洗面台へ、難しい方は食席で介助を行っています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	セレクト 20 に選ばれた要因の 1 つで、下磨き等細部にまで配慮している。1 人 1 人に合わせた丁寧な対応をしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	失禁がちな方にも居室でのオムツ交換ではなく極力便座に座って頂き出来るだけ排泄を促すようにしています。その方の残存機能を活かせるよう排泄チェック表に記録を取り、その方の周期やパターンを把握して誘導や声掛けを行っています。夜間トイレ頻回で失禁が多くなってしまう方にはＰトイレを使用もしています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援が適切に行えている。排泄行為を邸内に扱っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	清潔保持の為に週に入浴と足浴をそれぞれ 2 回以上行い、職員と昔話や色々なお話をすることで入浴に楽しみを感じて頂けるようにしています。またご本人の精神面や体調面を考慮してその方に適した入浴時間や入浴日に融通が利くように努めています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様個々のリズムに合わせて毎日の就寝時間を基本的にはご本人に決めて頂いています。その方に合わせて午後の短時間の臥床や休息時間を設け、また昼夜逆転にならぬようしっかり日光浴を浴びる為の外気浴や日中のレクリエーションや家事など活動量に注意しながら安心した睡眠に繋がるようにしています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬の際は、誤薬に細心の注意を払い一人服薬毎にチェック、複数人で声出し確認・ご本人にも確認しマニュアルも把握し介助を行っています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	間違いのないよう数人で確認し行っている。管理には最新の注意を払っている。職員がチームとして連携し服薬支援ができている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援を中心に考えその方の残存機能を活かせるよう出来る事はご自身で行って頂けるよう声かけに気を配りながら日課やレク、家事などの支援を行っています。 またご利用者様の趣味や好きな事から気分転換出来ること等をカンファレンスなどで都度話し合い内容も片寄りの無いようメリハリのある生活を提供できるよう支援しています	毎日ご利用者と一緒に食事作りをしたり個別にできる事を考え行えているのは良い事ですね。ここはいつもリビングにご利用者がいて部屋に籠らず過ごせていて良い。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	雨の日以外は毎日、散歩や中庭での外気浴を行っています。季節ごとに車で桜を見に行ったり公園を散歩したり、地域の移動販売に買い物や外食に出かけたりしています。	今年から移動販売に行かせてもらいご利用者も自分で好きな物を選べ召し上がれるのは楽しいですね。毎日の外気浴や散歩も行えているのは凄い事との事。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望をするご利用者に合わせ、買い物ケア等の支援を行っています。またご利用者様からご希望があれば通帳残高の開示などを行っています。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便箋やハガキはいつでも使えるよう常備しており自由に出せるよう支援しています。電話を希望のご利用者に9時半～19時の間ならば、職員見守りの元、いつでも自由に連絡を取って頂いています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレ内に貼り紙などで使い方がわからないご利用者様にもわかって頂けるように配慮しています。また、全面バリアフリーになっており、廊下には手すりを設置し、お風呂やトイレには分かりやすいように目印を書いています。 共有スペースの生活動線は物を		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の中も色々な所に張り紙等の工夫がされている。個室に小さな窓があるが普段はあけないよう目隠しされ配慮している。季節を感じる絵や花も飾られている。室内の模様替えをし意心地の良い室内を作っている。

				少なくして広く使う、季節感のある絵をカレンダーとして壁に飾る、季節の草花を飾る等を取り入れ今の季節を感じやすいようにしています。			
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	明日やりたいことや食べたい物をお聞きしたり、フロアーにご意見箱を設置しいつでもご本人が希望を伝えられるようにしています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との面会や遠方のご家族には電話、手紙などで関係を維持できています。コロナはおさまってきていますが感染状況から外出などが難しい状況です。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝のバイタル測定、月に2回の主治医往診、週に1回の訪問看護、歯科の往診にて体調報告を行っています。定期往診以外でも訪問看護と24時間相談できる体制を整えています。また本人の体調、状態に合わせて食事内容や提供場所を変更する等支援を行っています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の体調、状態に合わせ食事内容や提供場所を変更する等している。家族以上の細やかな神経で対応している。ご利用視野の健康管理には十分な配慮、取り組みがなされている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に生活歴の確認、本人やご家族からお話をお聞きし出来るだけ馴染みのある暮らしを継続していけるようにしています。またご本人との日々の会話の中でどのように生活してきたのか、これからはどのようにしていきたいのかをしっかりと伺い望む生活が出来るよう努めています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活同線に気を付け、家からの馴染みのある持ち込み物やご家族やお知り合いからの贈り物、希		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大切にしていた持ち物をベットから見える所に置いている。本人の希望に添った取り組みがされている。

				望されるものをご本人と相談して居室へ飾っています。			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム付近の散歩などは希望をとりながらおこなっていますがコロナの感染状況を見ながら希望をお聞きし外出しています。	ご利用者が行きたい所に行こうとするのは凄い。今後も継続して欲しい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や日々のコミュニケーションの中からそれぞれ好きな事や得意なことを把握しそれに取りくめるよう環境づくりをしています。難しいことでも職員のみで判断せず本人に希望をお聞きし出来ないことがあっても本人の望むことが出来るよう支援に努めています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室以外に共有スペースにソファーの設置や余暇時間には好きな場所にて過ごせるようにしています。おやつ時などは職員も共に座り会話の時間を設けています。洗濯ものたたみや食器拭き、食事作りなど本人の希望や状態に合わせて役割を持っていただけるよう努めています。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過ごしやすい空間づくりが出来ている。いきいきと過ごしている様子や会話のひと時を見ている。自由に話し合える場を作っている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ等感染状況を見ながら、徐々に地域の行事へ参加しています。本人の希望を取りながら、幼稚園の運動会や自治会のレクリエーション大会などに参加しています。	幼稚園の運動会や幼稚園児の来所はご利用者は嬉しい関わりですね。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションや関りを通して本人が望む安心した生活が出来るよう環境づくりを行い、状態の変化に合わせてケアカンファレンス等で話し合い適切	その人らしく過ごせるよう一人一人に合った役割があり、ご利用者の表情をみたらわかる。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者に合わせながら地域行事を意識して生活を創造している。一人一人が安心して自分らしく生活ができている。この施設に入居したいと考える人が多いが人数が限られる為残念がっている。

				な対応が出来るよう努めています。			